

課題番号	9	分野名	木材加工	予算区分	県単
研究課題名	内装用板系材の品質・精度に有効な乾燥法の開発 (1) 挙動抑制した高精度なスギ床材生産に寄与する乾燥法 (非結晶領域の固定化を意識した研究) (2) ステッカーマークの残存しない乾燥法 (スギ赤身材を意識した研究)				
担当者名	亀山 雄揮・篠崎 武彦・安藤 康裕・大塚 紘平			研究期間	平成21～25年度

緒言

新たな乾燥法の開発により、特に本県の特徴である素材の良さを活かした、スギ・ヒノキ無垢材製品の精度・品質の向上、規格安定性の確保、用途部位の拡大に寄与するものであり、さらに化粧材ということで今後増大傾向となる中目材の利用促進にもつながる、高度な乾燥技術の定着と高品質な乾燥材生産の促進に資するものである。

1 挙動抑制した高精度なスギ床材生産に寄与する乾燥法 (非結晶領域の固定化を意識した研究)

①材料と方法

- ・試験体＝県産スギ板材
- ・乾燥方法＝天然油脂による高温処理
- ・規格＝材幅105～120mm×材厚15～30mm
- ・品質＝一般的な特等材
- ・処理温度と高温処理後の試験体の含水率と寸法変化の関係を調査



②結果概要

高温処理材を無処理材と比較した結果、挙動抑制性能が確認できた。

2 ステッカーマークの残存しない乾燥法 (スギ赤身材を意識した研究)

①材料と方法

スギの赤身板材を乾球温度60℃未満、湿球温度を調整しながら人工乾燥を行ったが、ステッカーマークの残存しない乾燥法は未完成である (継続中)。

なお、ステッカーマークには、乾燥直後に発生するものと、時間が経過してから発生するものがあるため今回の試験については乾燥直後に発生した材について目視及び色差計 (ミノルタ社製CR-300) を用い、L*a*b*表色系にて色彩値を測定、変化を調査した。

②結果概要

目視確認；2ヶ月経過で全体的に色合いが変化し、ステッカーマークが目立たなくなることが確認できた。

